

JB Customer Report

カスタマーレポート



岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

大垣市立 江並中学校 様

2014年にORPHIS EX7200を導入された江並中学校様に現在の印刷環境について伺いました。

Q：以前と比べて、変化はありましたか？

一番の変化は、ORPHISのお陰で低コストでカラー印刷が可能になり、今までモノクロで刷っていたものもカラーで印刷出来るようになった事ですね。その多くは授業で使われる資料やテストなどです。社会科の地図部分や道徳のイラストなど、モノクロでは分かりにくかった所が、カラーになったことで生徒に伝わりやすくなりました。生徒達からも「見やすくなった」という声が上がっています。

他にも、美術で製作する作品の手本として、製作過程をデジカメで撮影してPC上で1枚原稿を作成し、カラー印刷して授業で使用しています。特に美術の授業はカラーの方が生徒もイメージが掴みやすいですし、先生も説明しやすくなるので良いですね。

Q：ORPHISを使う上で工夫されている点や気づいた点がありますか？

美術の授業での事になるのですが、作品をスキャンして、コピーした物を保管するようにしています。こうすれば作品を生徒に返しても、学校の中でも作品を残しておけますし、他のクラスの授業で見本として出力して使うことも出来るので便利です。ORPHISのスキャナーは蛍光ペンや付箋をつけてコピーをしてもカラーをしっかりと読み込んでくれるし下地カットの機能が備わっているため、新聞のコピーや時間割変更を印刷する際にも大変便利です。

ORPHISはカラー印刷がキレイなのはもちろんですが、モノクロ印刷もキレイで見やすい印象を受けました。印刷スピードも速いため、急いでいる時には本当に助かりますよ。

あと、当校には孔版印刷機もありますので、1クラス分の印刷にはORPHIS、それ以上の印刷量の時は孔版印刷機、という様に使い分けを行い、コスト削減に努めています。

Q：最後に一言、お願いします

紙詰まりやヘッドアタックに悩まされることもありますが、機械のクセや印刷のコツを上手に掴んで、これからも生徒の学習に役立つよう活用していきたいですね。



美術の授業で実際に使用しているお手本。ラミネート加工もしてあるので、他クラスの授業で使い回ししても長持ちします。

営業担当者の声



ORPHISの導入によって、両面印刷や丁合ができることで作業効率がアップしたと伺っています。毎月ORPHISの使用状況の確認を行いカラー・モノクロのランニングコストについて説明を行っています。今後もORPHISを有効に活用していただけるよう、アフターフォローを着実にやって参ります。

営業担当：橋本 浩明